



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily)

ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/)

ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## いっきにフローズン

こんなに氷がはっていたのかと思いました。11時ぐらいに立ち寄ったカブト虫小屋横の水槽です。早朝はすべて凍っていたかも



**ノスリ** トビはよく見かけますが、トビじゃないと確信し動画を撮りました。梢にとまっていたので記録できるチャンスでした。調べるとひとまわり小さなノスリでした。高いところから獲物をさがしているようでした。



### ソウシチョウ

かわいくてきれいな鳥ですが、籠脱け鳥として国内で生息地をひろげているようです。ロクハ公園では昨年度確認事例があります。私は初めての出会いです。イタドリのような小さな種をついばんでいるようであり、常緑樹の中で虫をさがしているようにも見えました。この時は、こちらの存在を気にしてなくてしっかりと姿を見せてくれました。環境省の特定外来生物とされています。その存在が環境に大きな影響をおよぼす種としてとらえられていますが、琵琶湖における外来魚や水草の除去に比べれば、認識が低くです。今後、公園でどのように存在していくか見ていく必要があります。ソウシチョウが生息範囲を広げることで、もともといた鳥類が見られなくなることやソウシチョウの食性が公園の環境を大きく変えてしまわないかなどです。国外でそのような事例があり注視されています。



### ルリビタキ



### アカタテハ



### サカグンハイムシ

何回か出あっていましたが記録できませんでした。できたら名前のルリ色したオスと思いますが、これは♀か♂の幼鳥か判断しにくいです

アカタテハは、もはや驚きの写真、今号のトップに氷の写真を入れているのに、タンポポの花での吸蜜シーン。グンハイムシは冬のアセビの葉っぱの裏の景色なのです。



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## すっきりとなくなりました



、  
 ようやくという感じです。プロムナードのイチヨウも背の高いメタセコイアの並木も葉っぱがなくなりスケスケです。新緑のころと比べてみました。うっそうと茂る新緑ですが暗いとは感じません。それだけ光が強いのでしょうか。冬の光は地面までとどくのですが明るいとは感じにくいですね。



カワラヒロ



シヨウビタキ



シユウカラ



カワセミ

## 12/18の観察会を前に野鳥をさがす



ハクセキレイ

野鳥の観察は偶然性からむ出会いが多いです。でも近々の様子を見ておくと、必然性が高まります。食事をしているシーンが見られると、その食料があるうちは可能性が大了。種類によってちがいますが、同じ場所にやってくるのが想像されます。しっかり縄張りを持っている種は範囲を知っておくと会えるチャンスも高まります。水鳥は、水の中に逃げはなれますが遠くへ飛んでいくことはないので追いかけてやすいです。つないでおきたい気分です。



シロハラ



オオバン



カルガモ



ホシハジロ



キンクロハジロ



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 小春日和の中で

本格的な寒さと、昨夜の日本戦の惜敗の余韻を引きずりながら公園に入りましたが好天で気持ち良かったです。もう虫が飛ぶこともないかと思っていたのに、シジミチョウにも出会いました。冬の花に出会いました



セイヨウヒイラギナンテン



サザンカ



ヒイラギナンテンは春に花をつけます。こちらは真冬、花の少ない時期、蜜は貴重な存在です。虫はこの時期めったに出会いませんが、毎日のように、日に何回もメジロが利用します。写真の株は園路のわきにあるものですが、気にせず吸蜜している様子が見られます。

さざんか、さざんか、咲いた道♪こちら冬の花の代表選手誰もか知っています。ときどき、ツバキと混同されます。ツバキの開花は早いものでも、もう少し後。こちらメジロの御用達。開花期間はとても長く次から次へとひと冬咲いているように感じます。



ヤツデ



雌花



雄花

かこたかし作の絵本「てんぐちゃんシリーズ」によって知名度が高いヤツデ、時々、この葉っぱを得意げに持っている子に出会います。園内では目立たないところにあり、子どもたちの脅威(親の驚異)から逃げられているのだと思います。

花はこの時期に咲きます。虫に花粉を運んでもらう花は、冬の時期は大変です。虫がいないのですから。少数でも確実に集めるためににおいが強いです。雄花と雌花があるのですが、株の中では雌花期と雄花期が交互に入れ替わるようです。自家受粉を避けるためだそうです

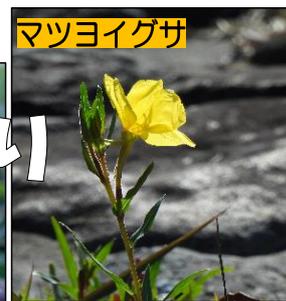


メジロオン



シロツメグサ

びっくり



マツヨイグサ



カラミツミチョウ

季節はころっと変わるのではないと思います。まだまだ過ごせると思っているのに翌朝霜が降りれば死滅します。その境目を経験したものが子孫をのこそうとしているのかも知れません。地球の温暖化を警告しているのかも。



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 参加者を悩ましたカエデの葉っぱ。

11/27(日)におちばの日のイベントをしました。落ち葉といえば紅葉・モミジです。この3種モミジといってしまう方がいいのですがちがうのです。①②は最近まで一緒に見えたがよく見るとちがいます。名前でも惑わされます。



カエデとモミジどう違う？カエデというのはカエルの手に似た葉っぱから、モミジは秋に黄色や赤に色づく動詞「もみず」からきているようです。①②はオオモミジやイロハカエデともよばれるようです。一緒に思えますが葉っぱの切れ込みが浅い、深い差があります。でも種を見ると同じ仲間と実感できます。

③はモミジの葉っぱの形の「フウ(楓)」です。カエデでもモミジでもないフウです。実は全く違います。別種だからあたり前です。しかし、葉っぱがカエルの手タイプなので漢字「楓(カエデ)」が使われフウと読みます。ややこしや、ややこしやです。



モミジバフウの実とはげとげの数だけ部屋があり、種がつまっています。熟して乾燥すると穴が開きそこから種が落ちます。鳥たちはそれをよく知っていて食べに来ます。左から、前日カワラヒワ、この日はヤマガラ、キジバト、ヒヨドリです。この種はとっても小さいです。カワラヒワやヤマガラの小鳥はわかるのですが、ハトやヒヨドリは食べ応えがあるのかと心配します。



おちばのイベントで、上記の3種を合わせ21種の葉っぱがどの木のものかを公園内でさがしてもらいました。写真は実際のものとし雰囲気は違うし、大きさもわかりにくいです。木に葉っぱが1枚も残ってないものもあり難問だったと思いますが、熱心に取り組んでおられました。



ROKHANOJIZEN.COM

# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

綺麗な秋の景色がだんだん少なくなっています。

この週末に「おちばの日」のイベントが設定されているのですが、紅葉・落ち葉は進行が思ったより早く進んでいます。ワールドカップに夢中になっていたら一機にクリスマスになってしまいそうです。11月22日の景色です。



## メタセコイア

背丈の高さが並ぶと圧倒されます。紅葉がいっしょに進み、天気がいいとジャブジャブ小川の水面にきれいに映します。メタセコイアの葉っぱは、バサバサと落ちる感じは少なく、葉っぱのかけらなどが降り注ぐように落ちます。初雪が積もり地面を隠していくような感じです。錆びた世界に入ったような感じです。まもなく、この落葉の掃除がされます。エアーで集め系のダンブトラックで何杯も運びだされます。



ニシキギの実



サネカズラの実



タラヨウの実

## 赤い実



赤い実が熟すのが多くなりました。野鳥を誘っているのです。鳥たちがこの赤い実の果肉を食べるのはフルーツ気分でしょう。下は赤い花サザンカです。



サザンカ



## ロックオン シロハラ確認

ここしばらく探していました。声はするのですが姿が見えない状態が続いていました。上の写真は今期初めて姿を確認したものです。枝をかぶって全体が見えにくいですが「見つけたぞ！」という感じでした。しばらくは樹上にいることが多いです。公園の様子をみ取っているのでしょうか。左の写真はその直後、地面に降りた様子です。これからはこんな景色がおおくなります。



ヤマガラ

モズ



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 宇宙規模・地球規模の動きがありました

11/8 月が全てかけていく。皆既月食、そこに天王星食がプラス、てんこ盛りの天体ショーでした。公園の木々や生き物も地球の上から何かを感じたのでしょうか。13日には遅かった木枯らし一号が吹きました。



オシドリの飛来にわくロクハ池

切手の図柄や絵画でも見かけるオシドリは知名度が高い野鳥ですが、警戒心が強く夜行性で、日中は樹木の枝で休んでいることも多く見かけることは少ないです。ロクハ池は、草津市の非常用の上水道水源として人の立ち入りがありません。鳥たちにとっては好都合、観察には遠いですがずっと居座ってほしいと思います。左の写真はカップル、カラフルなほうがよく知られるオシドリの姿、メスは地味でメスだけではオシドリだと思わないかもしれません。

右の写真は10羽ぐらいが集っている様子の証拠写真。オスは確認しやすい



プロムナード

上 イチョウの葉っぱが一緒に通路を色づけます。 下 日の当たるところは、一緒に色づきますが日陰にある木は徐々に紅葉シグラデーションが楽しめます。。



日当たり

日かげ

トウカエデ



イロハモミジ



コバネイナゴ



ツチイナゴ



アキアカネ

コバネイナゴはまもなく寿命が尽きます。飛び出した後の様子も落ちたという感じ。ツチイナゴは成虫越冬します。春まで生き抜くために栄養補給中、顔つきも泣き顔じゃないみたいで

赤とんぼ軍は小春日和の中で飛んでいます。成熟が進むと体側の赤く?茶色く?なり黒い模様が見えにくくなります。ナツアカネかもしれません。



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 秋晴れが続きます。日々色がついてきます

いいお天気が続きます。紅葉のきれいさの条件に今年の滋賀は当てはまっているそうです。台風で木々が痛むことが少なかったです。夏秋の日照時間が長く雨が少ないと感じます。朝夕は冷え込んできているのに日中は暖かく寒暖差が大きいです。



多目的広場から



南ゲートから上がってくる



メタセコイアの木立から



スズメウリ

スズメとカラス実の大小から来るものと思ってましたが、スズメの卵のような実、とカラスが食べる実などの名前の由来が。



ブナ

上 寒い地域での広葉樹の代表格  
下 紅葉の色が独特です。色づきも一番早く、遠くからも確認できます。



キタキチョウ

どちらのチョウも秋が深まるとよく見かけます。そして春先もよく見かけます。夏の間、どこかに行っていたのかと思うぐらいです。。



カラスウリ



ウルシ



キタテハ



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 落ち葉が進むと鳥が見やすくなります

緑が生い茂る季節も鳥たちはより活発な活動をしているのですが、葉っぱが多くて見るのが難しいのです。これからの季節は、春にかけて滞在する鳥が増えてくることも併せて、観察しやすい季節です。

### 秋から晩春にかけてロクハ公園で見られる鳥

科名	種名	たのしみ
カモ科	マガモ	たのしみ
カモ科	カルガモ	いつも
カモ科	ホシハジロ	たのしみ
カモ科	キンクロハジロ	たのしみ
カモ科	ミコアイサ	たのしみ
カイツブリ科	カイツブリ	たのしみ
ウ科	カワウ	たのしみ
サギ科	アオサギ	いつも
サギ科	ダイサギ	いつも
サギ科	コサギ	いつも
クイナ科	オオバン	たのしみ
タカ科	トビ	たのしみ
カワセミ科	カワセミ	いつも
キツツキ科	コグラ	いつも
モズ科	モズ	たのしみ
カラス科	ハシボソガラス	いつも
カラス科	ハシブトガラス	いつも
ツグミ科	クイタダキ	たのしみ
シジュウカラ科	ヤマガラ	たのしみ
シジュウカラ科	ヒガラ	たのしみ
シジュウカラ科	シジュウカラ	いつも
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	いつも
ウグイス科	ウグイス	たのしみ
エナガ科	エナガ	いつも
メジロ科	メジロ	いつも
ハト科	キジバト	いつも
ヒタキ科	シロハラ	たのしみ
ヒタキ科	ツグミ	たのしみ
ヒタキ科	トラツグミ	たのしみ
ヒタキ科	オオルリ	たのしみ
ヒタキ科	ムクドリ	たのしみ
ヒタキ科	キビタキ	たのしみ
ヒタキ科	ルリビタキ	たのしみ
ヒタキ科	ジョウビタキ	たのしみ
スズメ科	スズメ	いつも
レンジャク科	キレンジャク	たのしみ
レンジャク科	ヒレンジャク	たのしみ
セキレイ科	キセキレイ	たのしみ
セキレイ科	ハクセキレイ	いつも
セキレイ科	セグロセキレイ	いつも
セキレイ科	ピンズイ	たのしみ
アトリ科	アトリ	たのしみ
アトリ科	カワラヒワ	いつも
アトリ科	マヒワ	たのしみ
アトリ科	ベニマシコ	たのしみ
アトリ科	シメ	たのしみ
アトリ科	イカル	たのしみ
ホオジロ科	ホオジロ	いつも
ホオジロ科	ミヤマホオジロ	たのしみ
ホオジロ科	カシラダカ	たのしみ
ホオジロ科	アオジ	たのしみ
ホオジロ科	クロジ	たのしみ

「いつも」「たのしみ」としたのは、ロクハ公園での見られる時期を表しています。「いつも」は年中見かけられる鳥で「たのしみ」はこの季節に見られる可能性がたかまるものとして表しました。



ムクドリは年中草津で見かけられる鳥ですが表に入ってません。これからの時期に公園内で見かけることはほぼありません。



ヤマガラは山のほうで繁殖し秋になったら里のほうに下りてきます。年中いるシジュウカラやエナガ、コグラ、メジロなどと群れをつくり行動します。



ウグイスは春になると山から下りてきていい声で鳴くイメージがありますが、ロクハ公園では1年中いるように感じます。ウグイスを写真に撮るには葉っぱの少ないこの時期しかないと考えてます。

表に載せていない鳥もいます。旅の途中の一休みとして公園の中に来るタイプや住まいの条件が違うのに入ってしまった迷い鳥みたいなものもいます。今年のロクハは小鳥が多いのでここで過ごすか考える猛禽がいるかもしれません



上の写真はジョウビタキみです。この個体は左目の目じりに白い斑点が三つ見られます。昨年度確認されたのですが、その前年度も写真に写ってました。そして今年もやってきたのです。海外から3年間通ってきているということです。



ロクハの自然.COM

# ロクハの自然

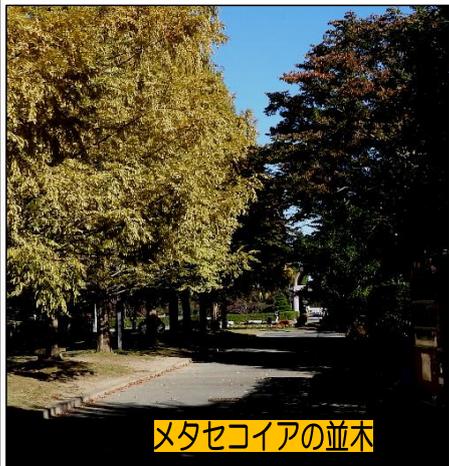
facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

秋晴れが続きます。その分朝は冷え込んできます

雲一つない青空をこの一週間何度も見ました。写真に残そうとしますが、広がりというか深まりというか。うまく写りません。技がないのでしょうか。しっかり目に焼き付けておこうと思います



イチョウのプロムナード



メタセコイアの並木



クルクルランド



ナンキンハゼ



モミジ



柿の葉



特別なケヤキ



ススキ



ヤマハゼの実



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily)ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/)ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 紅葉が始まっています

空気のごろっと変わって秋が深まります。「寒露」の節気を過ぎ、次は「霜降」霜が降りる季節になっていきます。



モミジバフウ



ウルシの仲間

モミジの形をした楓の木・大きな樹が植栽されています。紅葉の様子は一様ではありません。紅葉する中では早いほうで目立ちます。



ジョウビタキ♀

他所から飛来しこの地で冬を過ごす、「冬鳥」と呼ばれる鳥の一番バターとなりました。公園では5羽ぐらいが入りそれぞれがテリトリーをもって冬を過ごしていきます。まだ一羽しか入っていないようなので鳴いて自分の場所を守るといふ行動はまだやっていないような気がします。オスとメスはちがう種類だと思っぐらいに様相が違います

公園内で繁殖している鳥に、このような冬の間滞在する冬鳥、近くの山間から里に戻ってくるタイプなど、少しずつ種類が増えていきます。葉っぱが少なくなり動くものが鳥だけで、観察しやすくなります。その鳥たちがすごせる食べ物があるかが重要で木の実が重要な役割を持ちます



フユイチゴ・ジューシーです



カラスザンショウ・辛くない?



アケビの実にメシロ



セイタカアワダチソウの小さな種



虫がいるときは虫を・シジュウカラ



赤い実は鳥用の色



モミジバフウの種がこの中に